

「詩の世界」定期テスト対策練習問題

| | | | |
|---|---|---|----|
| 年 | 組 | 番 | 名前 |
|---|---|---|----|

【1】 「てがみ」 についての問題

問1 「てがみ」の作者を漢字で答えなさい。

問2 「てがみ」の詩の形式を漢字5字で答えなさい。

問3 「てがみ」の詩は、ある決まった音数で書かれているが、いくつかの音数と、いくつかの音数が、漢数字を使って答えなさい。

問4 「てがみ」の詩は、何連で書かれているか答えなさい。

問5 「てがみをながしてやりました」とあるが、どういうことか、もっとも適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア:世界のどこかの誰かに届くように、手紙を海に流した。

イ:手紙が魚になれるように、海に流してあげた。

ウ:もらった手紙が望むものではなかったので、海に流した。

エ:渡すことのできなかつた手紙を、海に流した。



問6 「てがみ」の詩の特徴をあらわすものとして、適切なものを次の中から全て選び
○で囲みなさい。

- ア:決まった音数にすることで、リズム感を出している。
- イ:反復法を使うことで、印象に残るようにしている。
- ウ:すべてひらがなを使うことで、やわらかい印象をもたせている。
- エ:古い言葉や文法を使って書かれている。

問7 「てがみはあおくなるでしょう」とあるが、これは「てがみ」が何になったことを表現している
と考えられるか。詩の中から書き抜いて答えなさい。

問8 「てがみ」で作者が伝えたいことはなにか。もっとも適切なものを次の中から選びなさい。

- ア:伝えられなかった思いというものが誰しもあるものである。海を泳ぐさかなは、そんな人々の
思いなのではないか。
- イ:消してしまいたくなるような思いというものが誰しもあるものである。そのような思いは海に
流して前を向くことも大切だ。
- ウ:抱えきれない思いも、広い世界に出てみれば、必ず受け取ってくれる人がいるはずである。
- エ:自分だけの大切な思いは、胸の中の海にそっと流そう。心の中ならば泳ぐさかなのように
自由になれるはずだ。

【2】「太陽」についての問題

問1 「太陽」の作者を漢字で答えなさい。

問2 「太陽」の詩の形式を、漢字5字で答えなさい。



問3 「太陽」の詩では、いつの時間帯が情景として書かれているか、次の中から
選び○で囲みなさい。

- ア：夜明け
- イ：正午
- ウ：夕暮れ
- オ：深夜

問4 「太陽」の詩を、内容的に前半と後半に分ける場合、後半が始まる最初の1行を
書きぬいて答えなさい。

問5 「太陽」の詩の作者にとって、太陽はどのような存在か。もっとも適切なものを
次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：自分をいましめる存在
- イ：自分に力を与えてくれる存在
- ウ：手の届かない存在
- エ：憧れの存在

問6 太陽を「ふところへいれていたい」とあるが、「太陽」の詩の中で同じ意味をもつ言葉
を書きぬいて答えなさい。

【3】「魚と空」についての問題

問1 「魚と空」の作者を漢字で答えなさい。

問2 「魚と空」の詩の形式を漢字5字で答えなさい。

問3 「魚と空」の詩は、何連で書かれているか答えなさい。



問4 「鳥は もう掴んでいる。」とあるが、何を掴んでいるのか、詩の中から書きぬいて答えなさい。

問5 「波は 海のやぶれ目を ごまかしている。」とあるが、ここではどのような表現技法が使われているか答えなさい。

問6 「海のやぶれ目」とはなにか。もっとも適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア:空と海との境目

イ:海の中に浮かぶ小島

ウ:鳥が魚を掴み出した海面

エ:海の上を飛ぶ鳥が落とした影

問7 「魚と空」の詩の第3連では、どのような表現技法が使われているか答えなさい。

問8 「たった一度だけ。」とあるが、それはなぜか。理由としてもっとも適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア:魚は海でしか生きられないから

イ:鳥はもうひとつの空へのまれてしまったから

ウ:波はもうやぶれ目をごまかしてくれないから

エ:鳥に食べられてしまうから



問9 「空の高見でもうひとつの空へ のまれる。」とあるが、「①何が」「②何に」のまれることを表しているのか。次の中から【①】と【②】に当てはまるものをそれぞれ選びなさい。

ア:鳥

イ:翼

ウ:海

エ:波

オ:やぶれ目

カ:魚

キ:空

【①】

【②】



「詩の世界」定期テスト対策練習問題（解答）

【1】「てがみ」についての回答

問1 寺山修司

問2 口語定型詩

問3 七音・五音

問4 3連

【解説】大きなひとかたまりのことを「連」という。

問5 エ

問6 ア・ウ

問7 さかな

問8 ア

【2】「太陽」についての回答

問1 八木重吉



問2 口語自由詩

問3 ウ

問4 まるくなって

問5 ウ

問6 ほしくなった

【3】「魚と空」についての回答

問1 木坂涼

問2 口語自由詩

問3 4連

問4 魚

問5 擬人法

【解説】波は生き物ではないので、ごまかすことはできないが、人間のように見立てて書かれている。



問6 ウ

問7 倒置法

【解説】通常なら「初めてそしてたった一度だけ魚は海を脱け出る。」となるが、「魚は海を脱け出る。初めてそしてたった一度だけ」と、語順を入れ替えている。

問8 エ

問9 【①】カ
【②】ア

